



カカオのサステナブル調達を通じた 労働環境改善・森林再生

2022年2月10日

不二製油グループ本社株式会社

CSO補佐/サステナブル調達委員 委員長

科野裕史

不二製油グループ 会社概要

代表取締役社長	酒井 幹夫
設立	1950年10月
資本金	13,208百万円
本社事務所	大阪市北区
連結従業員数	5,679名
連結売上高	3,648億円



事業拠点：世界15か国38社

大豆加工素材

大豆たん白素材（粉状・粒状大豆たん白）、大豆たん白食品（厚揚げ、がんもどき等）、機能剤（水溶性大豆多糖類、ペプチド等）を展開。大豆たん白素材は国内シェア第1位。



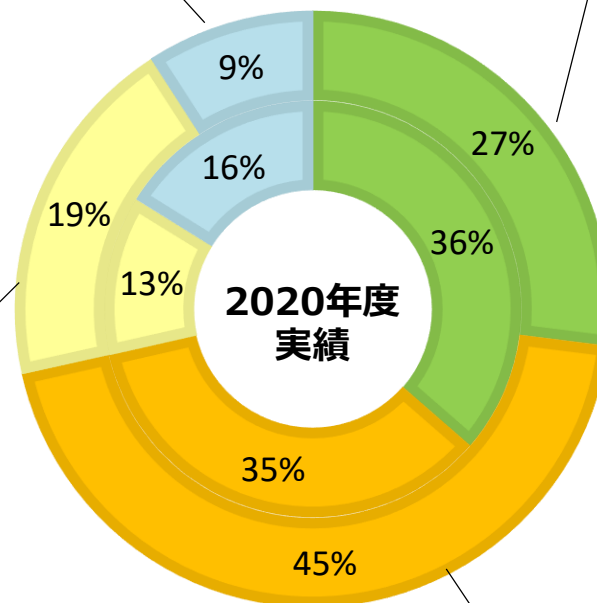
植物性油脂

パーム油を主原料に、食用加工油脂、チョコレート用油脂などをグローバルに展開。チョコレート用油脂では世界トップ3社の一角を占める。



外側：売上3,648億円

内側：営業利益179億円



乳化・発酵素材

クリーム、マーガリン、フィリングなどを展開。日本、東南アジア、中国で展開し、中国でのフィリングのシェアは第1位。



業務用チョコレート

製菓用・製パン用など多用途な業務用チョコレートの製造販売を手がける。グローバルシェア第3位。



カカオ産業を取り巻く状況 ①児童労働の現状

世界のカカオ産業は西アフリカに集中

- 世界のカカオ生産の約7割を西アフリカが占める。
- コートジボワールとガーナで156万人の児童労働
- そのうち95%が危険有害労働*に従事
- ガーナの児童労働者数は77万人、カカオ生産地の農家の55%に当たる

(NORC報告書、2020年10月)

日本が輸入するカカオの
77%はガーナ産！

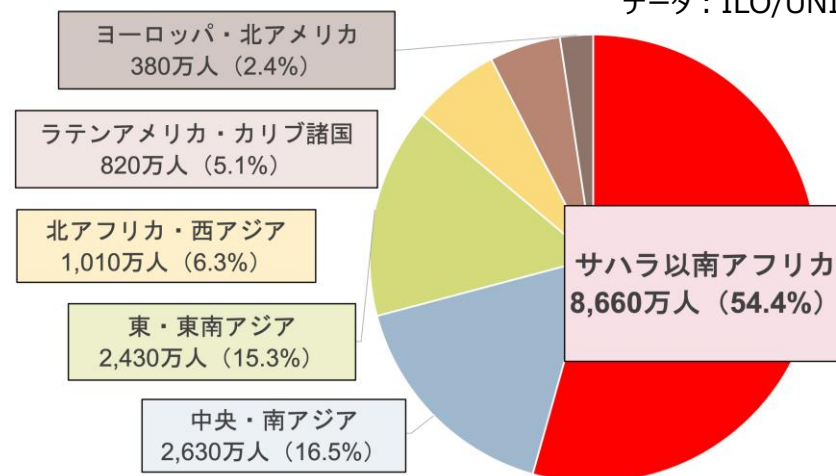
*次ページ参照



世界の児童労働の半数以上はアフリカ

- 世界の児童労働者の約56%をアフリカが占める。
- 子どもに占める児童労働の割合も高い。

データ：ILO/UNICEF 2021



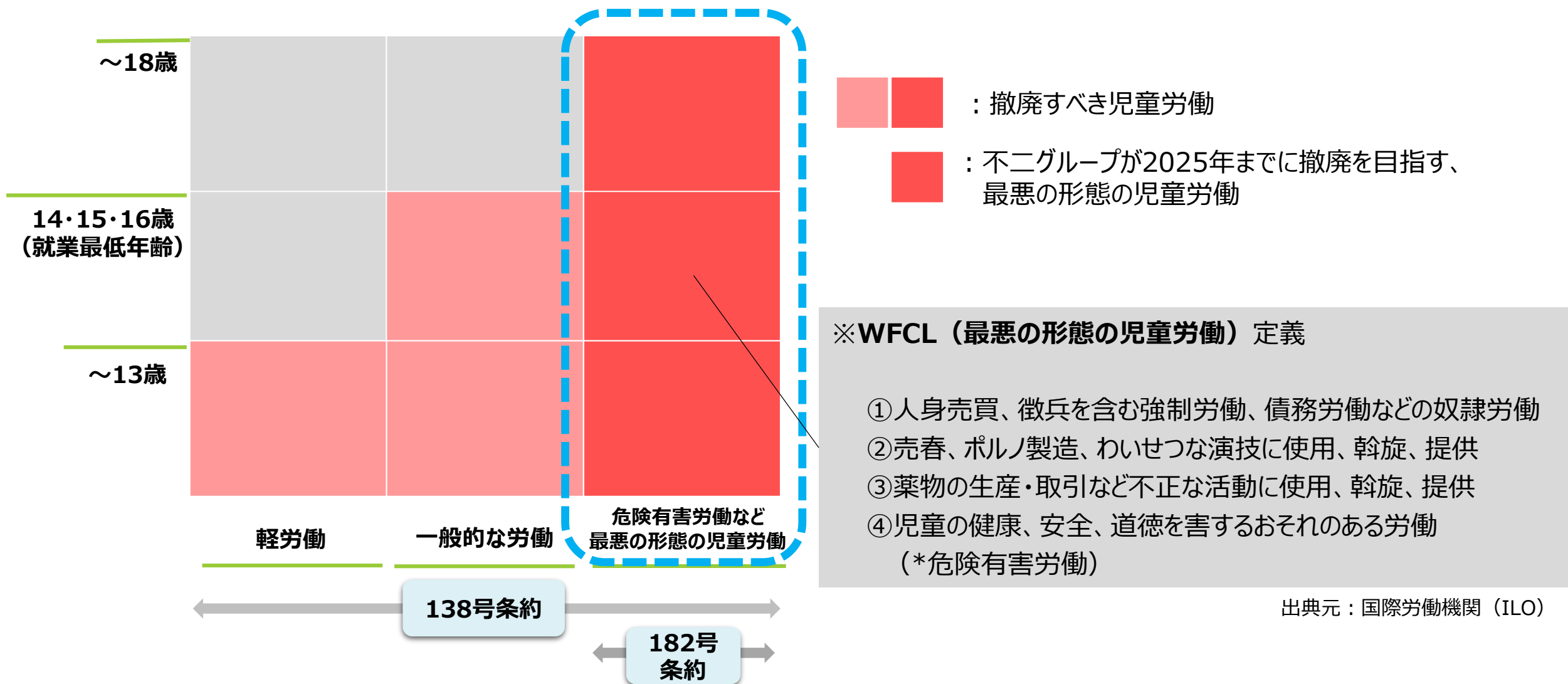
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



SDGターゲット8.7

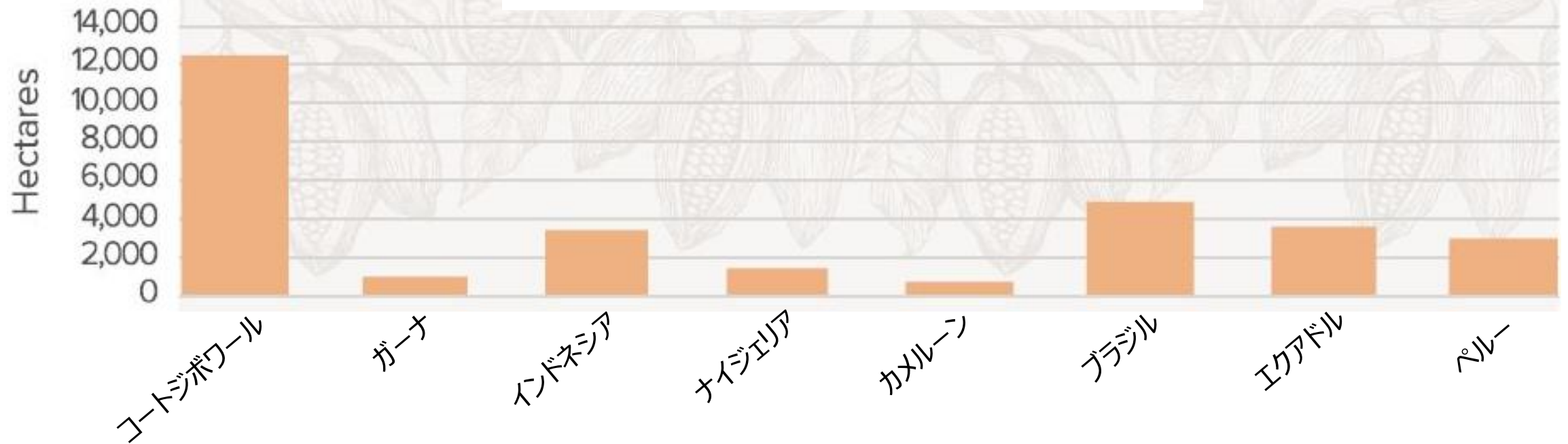
2025年までに、世界のあらゆる児童労働を終わらせる。

撤廃すべき児童労働の定義



カカオ産業を取り巻く状況 ②森林破壊

2017年 生産国上位8カ国のカカオ豆生産による
森林消失・森林破壊



2017年、コートジボワールにおいてはカカオ産業により12,000haの森林が消失

Forest Policy Trade and Finance Initiativeより

欧州 デュー・ディリジェンス関連法制化動向

森林破壊に関し特定商品取引に対する規制法案（仮称）

欧州委員会（E C）より
一般条項案 公開 2021/11/17

- 企業に森林デュー・ディリジェンス義務を課すことで、森林破壊および森林劣化に関連する特定の商品や製品のEU市場への輸出、およびEUからの輸出を禁止する仕組み。
- 規制対象品目：大豆、牛肉、パーム油、木材、カカオ、コーヒー
- 規制対象商品によって引き起こされる森林破壊と森林劣化のリスクのレベルを各国別で評価

環境・人権デュー・ディリジェンス法案（検討中）

- 企業に環境と人権への負の影響について法的責任を課す。
- 企業にはバリューチェーン全体を対象として、環境・社会・ガバナンスに関して、以下を含む対応が求められる。
 - デュー・ディリジェンス戦略の確立・実践・開示
 - グリーバンスメカニズム（救済の仕組み）の構築・運用

*2021年11月22日時点

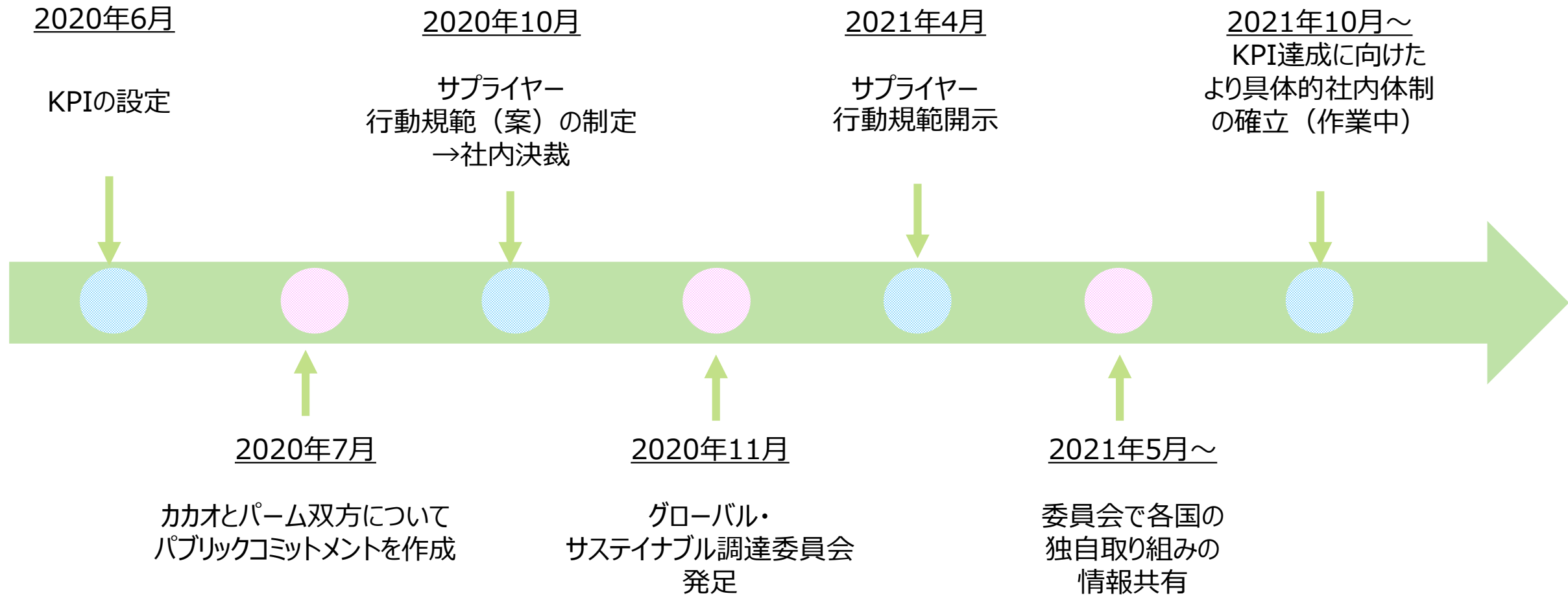
当社のコミットメント

社会課題	中長期目標	KPI 2025年	KPI 2030年	2021年度 実績
 児童労働	児童労働撤廃	WFCL*ゼロ	児童労働撤廃	米国ブラマー社が直接管理するサプライチェーンに対して - 農家83%についてGPSを使ったマッピングを実施 - CLMRS*²を100%導入
 森林破壊	森林再生	植樹50万本* ³	植樹100万本	植樹10万本 (NPO法人One Tree Plantedとの契約による)

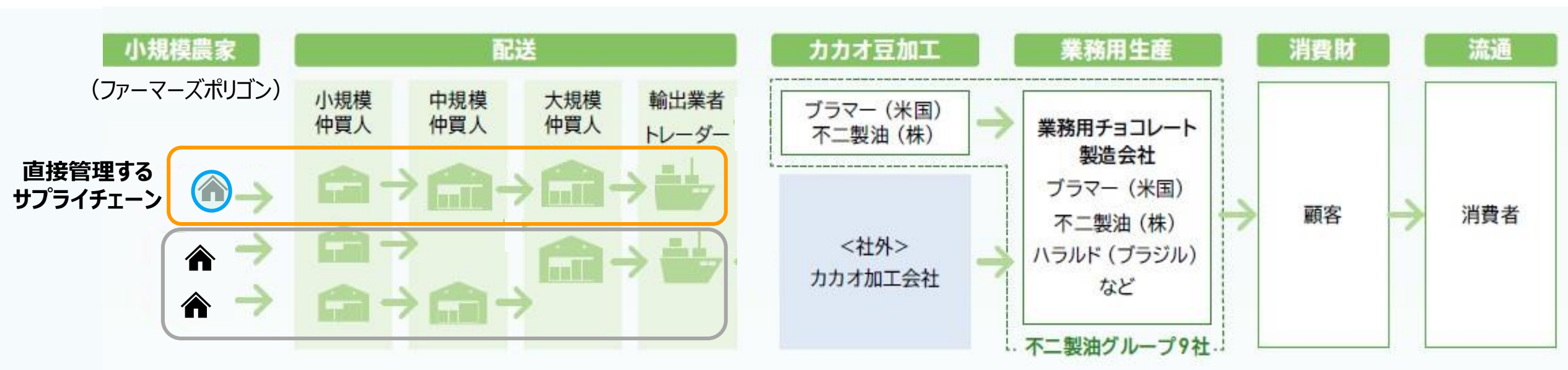
- * WFCL : Worst Forms of Child Labour (最悪の形態の児童労働)
- * 2 CLMRS : Child Labour Monitoring & Remediation System (児童労働監視改善システム)
- * 3 さまざまな種類の緑陰樹の苗木を2021年から2030年までの10年間で100万本植樹予定。



推進体制の構築



トレーサビリティの改善



: 直接管理するサプライチェーン
(ファーマーズポリゴンまでトレース
可能)

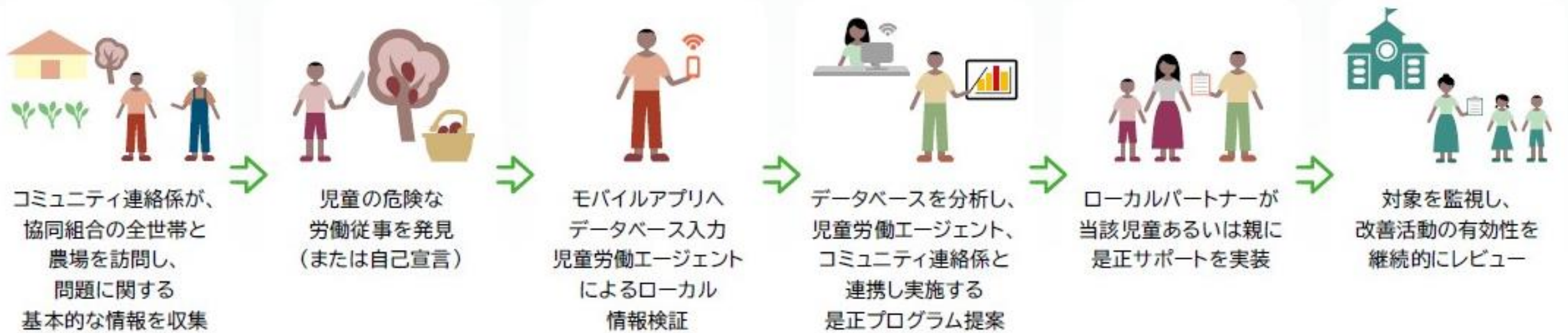
53%



100%

児童労働防止への取り組み ～CLMRS～

Child Labour Monitoring & Remediation System (児童労働監視改善システム)

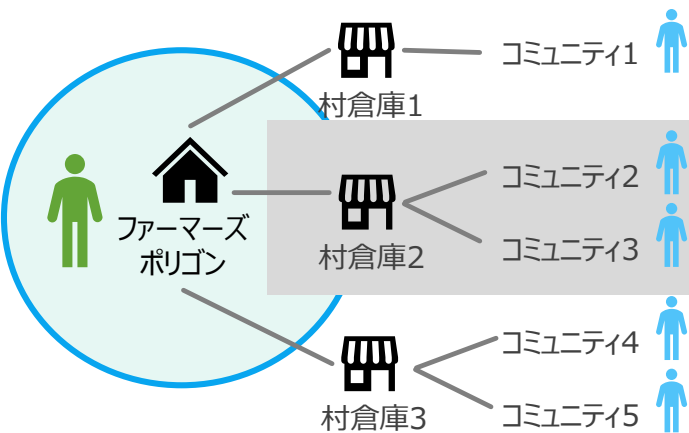


世帯調査

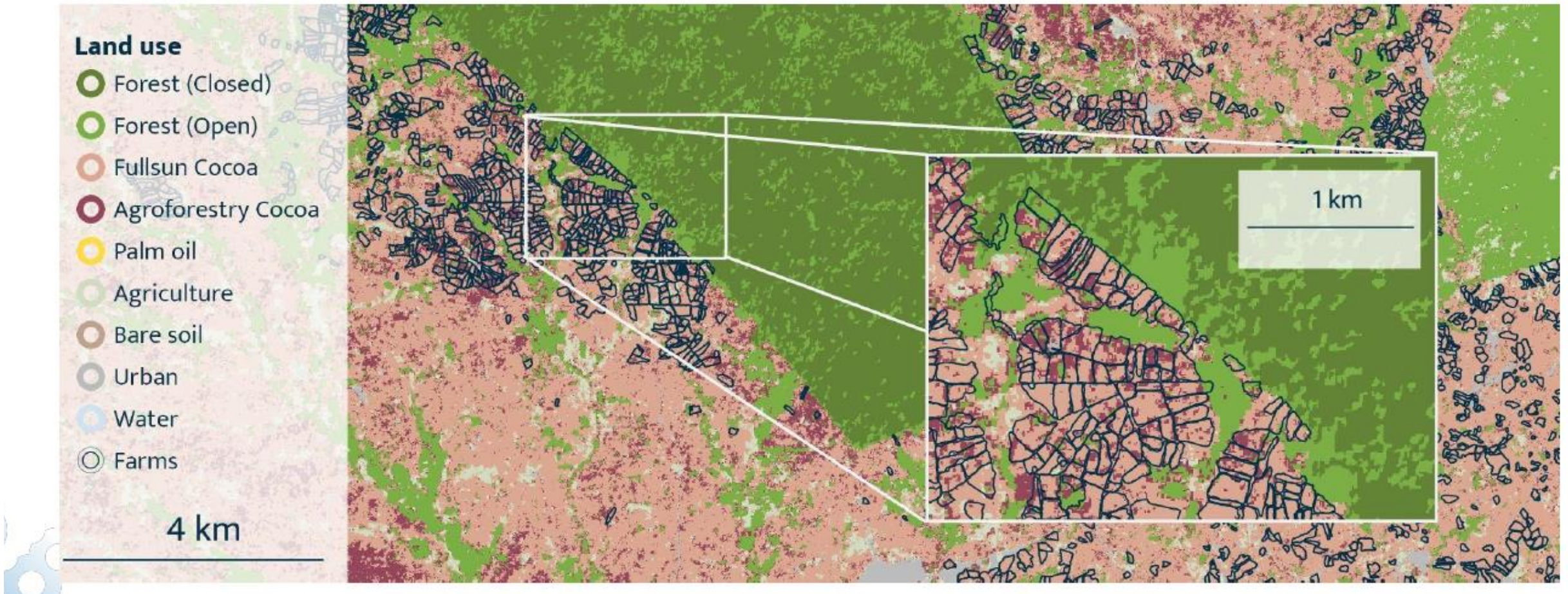
啓発活動
(センシタイゼーション)

児童労働事例
の追跡

是正



トレーサビリティの改善 衛星システムの活用



目的：カカオ調達先の森林破壊リスクを事前に把握できるようにする。

森林破壊防止 ～業界の取り組み～



ココア&フォレストイニシアチブ（CFI）による活動

35企業が参画。ブラマー社は2017年から参画。

- コートジボワールは、CFIのために森林減少を監視する国家衛星システムを採用し、2020年には国土の20%まで森林被覆を拡大することを目指して約1000万本の植林を実施。
- ガーナはカカオランドスケープパートナーシップにより、2020年に約226,000ヘクタール、1日あたりサッカー場870面分の森林面積を復元
- ココア・チョコレート企業は2018年から1040万本の森の木を配布し、2020年には直接調達におけるトレーサビリティを82%（ガーナ）、74%（コートジボワール）達成した



植林活動

3,369
HECTARES
RESTORED

100,000
NATIVE TREES
PLANTED

- 野生動物の生息地を提供・保護し
絶滅危惧種への脅威を軽減。



コミュニティ への貢献

- カカオ農家収益に貢献
5,329世帯（女性2,131人）
- 短期雇用者
95人

水環境の改善

- 河岸の原生林が完全に失われ、浸食、沈泥、乾燥が深刻化。
- 植樹された木は蒸発を抑え、川岸の土壌を安定させ、水環境を改善。

生物多様性の 確保

- 4種の絶滅危惧種の生息地
- 霊長類、爬虫類、両生類、
蝶類なども生息

森林破壊防止 ～GAP～

カカオ農園でのGAPの取り組み

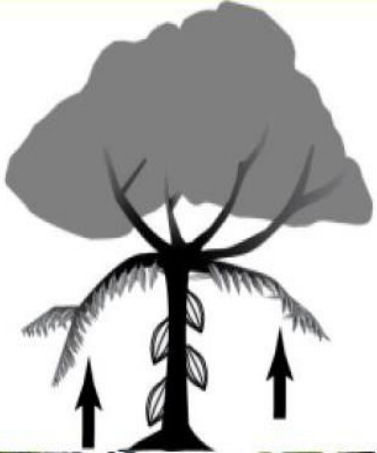
GAP: Good Agricultural Practices (農業生産工程管理)

- 剪定
- 害虫と病気のコントロール
- 除草
- 頻繁で衛生的な収穫
- 土壌の肥沃度管理
- 日陰管理
- 発酵管理
- 乾燥



森林破壊防止 ～GAP～

剪定例



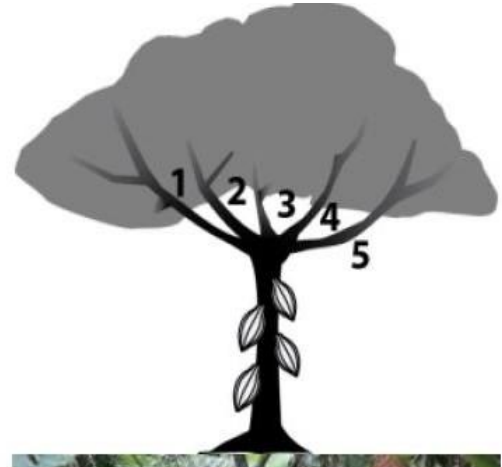
Not Good: Drooping branches



Not Good: Inward growing branches



Good: Outward growing primary branches



Good: Multiple primary branches
(optimally 5-6)



ご清聴有り難うございました

